

## 2020 年度実施概要

学校名

与論町立那間小学校

採択活動名

ユンヌの海から世界へ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. ユンヌのじまんを見つけよう	3年	総合的な学習の時間
2. 与論島と海と私たち	4年	総合的な学習の時間
3. ユンヌの海と環境問題	5年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

**1 はじめに**

那間小学校では、海洋教育の推進を図っていくこととなった昨年度、新たに活動を計画するのではなく、総合的な学習の時間（しちみゃん）を中心とした既存の活動で進めてきた。しかし、来年度以降の教科化の流れを受けて、本年度は先進校の指導計画等を参考にしながら見直しを行い、海洋教育の視点を入れた活動内容を新たに計画して実践を進めてきた。

**2 海洋教育の実践例****(1) ユンヌのじまんを見つけよう（3年）**

与論の自慢の一つである海を体験するために海に出かけ、そこで、さまざまな体験活動を行った。その後、興味をもったことについて自分でテーマを設定して調べ学習を行った。調べたことを発表する中で、与論の海の素晴らしさを子どもたち自身が感じる事ができていた。

**(2) 与論島と海と私たち（4年）**

与論の海にはどんな漂流物（ゴミ）があるのか調べていく中で、漂流物を通して世界とのつながりについて考えたり、自分たちの生活への影響について考えたりする学習を行った。学習を通して、与論の海を守っていく必要性を強く感じる事ができた。

**(3) ユンヌの海と環境問題（5年）**

サンゴを増やそうプロジェクトの一つとして与論町の漁協と鹿児島大学等のサポートを得てサンゴの増殖実験に取り組んだ。サンゴに関する話を説明していただいた後、実際にサンゴを手にとって一つ一つ作り上げた。与論の海の環境問題への関心を高める事ができた。

**3 おわりに**

今年度は、昨年度より海洋教育をしっかりと意識した活動を多く実践することができたが、まだまだ学年間での活動に差があったり、系統性など見直すべき課題もあったりした。教科化に向けて充実した海洋教育とするためには、総合的な学習の時間だけでなく、他教科や行事等の中からも海洋教育を推進できるような活動がないかを再度洗い出し、指導計画作りを進めたい。また、地域人材の積極的な推進を行いながら、海洋教育を本校の教育活動の特色の一つとして推進していけるよう取り組んでいきたい。